

多くを学んだ「赤ちゃん先生」プロジェクト

本校は総合学科で、多くの講座を開講しています。しかし、生徒の皆さんにとっては、自分の受けている授業以外によくわからないこともあると思います。明南は、本当に色々な授業を行っています。

今回は、家庭科「生活産業基礎」という授業の紹介をします。10月19日(金)中間考査最終日の午後に、今年も「赤ちゃん先生」プロジェクトを行いました。参加生徒は26名で、講師役の赤ちゃんを連れてこられたお母さんは、7名でした。これまでの授業で、「妊婦体験」やおむつ交換や幼児にプレゼントするお菓子づくり [写真] 等の準備を経て、当日を迎えました。



講師のお母さんから直接、妊娠や出産に関する経験や苦労話等について聞くことや、連れてこられた幼児を実際にあやしたり、絵本を読み聞かせる等の体験をすることで、多くを学んだようです。

生徒の感想文には、「妊娠、出産、育児の話は普段あまり聞くことがないので、良かった」「とにかくかわいい」「育児体験をしてみて、育児が大変だとわかった」「小さいお子さんを連れてくるお母さんがおられたら、何か手伝いたい」「自分を育ててくれた親の大変さがわかった」等が書かれてあり、その時感じたことがよく伝わってきました。



人を思いやる心、人への感謝の気持ちも学ぶことができた貴重な時間だったと思います。

